

一般社団法人日本医療薬学会
平成 30 年度第 2 回定例理事会 議事録

一．開催日時：平成 30 年 3 月 25 日（日） 13 時 30 分 ～ 15 時 15 分

二．開催場所：金沢商工会議所会館 研修室 2

三．出席者

会 頭：佐々木 均

副会頭：奥田 真弘、井関 健、山田 安彦

理 事：青山 隆夫、伊藤 清美、川上 純一、崔 吉道、佐藤 淳子、千堂 年昭、
武田 泰生、濱 敏弘、松原 和夫、峯村 純子、山田 清文、脇山 尚樹

監 事：安原 真人、山元 俊憲

陪席者

顧 問：木平 健治、和田 一夫

事務局：星 隆弘

欠席者

理 事：出石 啓治、大谷 壽一、宮崎 長一郎、望月 眞弓

監 事：大石 了三

顧 問：五十嵐 邦彦、山本 信夫

四．議長：佐々木 均

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 16 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果

1. 平成 30 年度第 1 回定例理事会議事録の確認

議長より、本年 3 月 6 日に開催された平成 30 年度第 1 回定例理事会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までには指摘するよう要請があった。

2. 協議事項

(1) 第 10 回定時社員総会資料等の確認

1) 平成 29 年度事業報告(案)

千堂理事より、第 10 回定時社員総会（以下、総会）資料を基に、同総会における平成 29 年度事業報告(案)の説明方針と進行時間等に係る説明があった。

2) 平成 29 年度決算報告(案)

山田(清)理事より、総会資料を基に、同総会における平成 29 年度決算報告(案)の

対応方針の説明と進行時間等が確認された。

3) 平成 29 年度監事監査報告

安原監事より、総会資料を基に、同総会における平成 29 年度監事監査報告の概要が説明された。

4) 総会進行手順、議事録署名人、会場レイアウト等の最終確認

議長より、同総会の議事次第及び進行手順が確認された。新役員の選任決議については、定款に従い、1 人ずつ決議をすることが説明された。続いて、千堂理事より、議事録署名人として 2 名候補者に依頼することと総会の会場レイアウトの説明があった。

(2) 平成 30 年度がん専門薬剤師研修施設の認定

濱理事より、がん専門薬剤師認定制度委員会で審議したがん専門薬剤師研修施設の認定審査結果等に係る説明があった。

1) 平成 30 年度がん専門薬剤師研修施設の認定審査

今年度のがん専門薬剤師研修施設には 19 施設より申請があり、メールによる本委員会の委員によって審議した結果、18 施設が認定要件を満たしていること。また 1 施設はがん専門薬剤師に準ずる施設の認定要件を満たしており、全ての施設を認定可能と判定したことが説明された。協議した結果、当該審査結果は了承された。(認定日：本年 4 月 1 日、認定期間：本年 1 月 1 日から 5 年間)

2) がん専門薬剤師更新申請に係る再審査の結果報告

平成 29 年度第 6 回定例理事会では、がん専門薬剤師の更新審査上の取り扱いとして 7 名の更新認定を見合わせ、がん患者に対する薬学的介入 (50 症例) の再提出を求めて再審査を実施し、その結果に基づき更新の可否を判定することが了承された。それを受けて、再提出症例に係る再審査を実施した結果、全 7 名はがん専門薬剤師の更新が認められると判定したことが報告された。

(3) 平成 30 年度医療薬学公開シンポジウムの開催計画

青山理事より、企画シンポジウム委員会で協議した平成 30 年度の医療薬学公開シンポジウムの開催として年間 4 回開催することを確認し、本シンポジウムを近年開催していない地域や会員数が少ない地域、また年会開催地と離れた地域などを考慮し、4 名の実行委員長を選出と 6 題の提示テーマを決定したことが説明された。協議した結果、本件は了承された。本シンポジウムの実行委員長は、次のとおり。①中川直人氏 (福島県、奥羽大学薬学部 教授)、②厚田幸一郎氏 (神奈川県、北里大学病院 薬剤部長、薬学部教授)、③後藤伸之氏 (福井県、福井大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)、④入江利行氏 (福岡県 小倉記念病院 薬剤部長)。

(4) 第 28 回年会シンポジウム等への演題登録

青山理事より、本学会の各委員会の企画として第 28 回年会のシンポジウムに登録す

る演題が 6 件あることが報告された。演題登録した委員会及び演題のタイトルは、次のとおり。国際交流委員会（Pharmacy Education, Research and Practice Models in Asia）、医療薬学学術委員会（医療薬学学術委員会が支援する調査研究課題）、医療薬学教育委員会（学会発表から論文へ（仮））、専門薬剤師育成委員会保険薬局 WG（薬局薬剤師のエビデンス化に向けた取り組み）、がん専門薬剤師認定制度委員会（がん薬物療法における、症例サマリから見る薬学的介入と処方提案のポイント（仮））、薬物療法専門薬剤師制度委員会（薬物療法専門薬剤師としての症例への関わり方 —薬物療法へのさらなる貢献を目指して—）。

(5) 出版図書の改訂に係る出版契約等

峯村理事より、前回の理事会で了承された「病態を理解して組み立てる薬剤師のための疾患別薬物療法」改訂版の出版に係る執筆料及び印税等の取扱いを受け、出版社である南江堂より提示された 5 冊分の出版契約書を基にした契約の締結に関する説明があった。協議した結果、本契約の締結を了承することとなった。また、当該書籍の広報活動も積極的に進めることとした。

(6) 平成 29 年度認定薬剤師未更新申請者からの嘆願への対応

青山理事より、昨年の認定薬剤師の更新申請の対象で同更新を行わなかった者より、申請できなかった理由及びこれから当該更新申請の手続きを求める嘆願書の提示を受け、認定薬剤師認定制度委員会で協議したことが報告された。その対応として、同認定制度委員会において、当該嘆願理由の裏付けと更新要件の充足性を確認し、その結果を次回の理事会に諮りたいとする主旨説明があった。協議した結果、本対応方針は了承された。

(7) 日本臨床腫瘍学会・医療従事者向けセミナーWG のメンバー推薦依頼への対応

議長より、日本臨床腫瘍学会では医療従事者を対象とする免疫療法に関する教育セミナーを企画しており、同企画を担うワーキンググループのメンバーとして、本学会に 2 名の推薦依頼があったことが説明された。協議した結果、寺田智祐氏（滋賀医科大学病院）と渡邊裕之氏（九州大学病院）を推薦することとなった。

(8) 委員会細則の改正

千堂理事より、企画シンポジウム委員会の下部組織に属するフレッシュャーズ・カンファランス小委員会を、常置委員会に昇格させるための委員会細則の改正に係る説明があった。協議した結果、本件は了承された。

3. 報告事項

(1) 第 28 回年会（神戸）準備状況報告

千堂第 28 回年会长より、平成 30 年 11 月 23 日から 25 日までの 3 日間にわたって神戸コンベンションセンターで開催される第 28 回年会の準備状況として、予定している

プログラム構成の概要、公募シンポジウムへの応募が 100 題近くある中で 60 数題の演題を採択予定であること、また共催セミナーの応募状況も良好であることや一般演題の申込及び事前参加登録の受付が 4 月下旬に開始される予定であることが報告された。

(2) 学会事務局職員の人事・労務管理に関する報告

千堂理事より、平成 29 年 1 月から 12 月末日までを対象とした本学会事務局職員の就業状況や給与管理等に係る調査報告があった。各職員の職務内容、就業状況、給与支給等に係る記録等を調査した結果、適正に遂行されていたことが報告された。また、今後の検討課題として、職員の勤務評定制度の確立、人材確保の方策の検討と事務局体制の強化などの指摘があった。

(3) 講習会・セミナーの開催計画

山田(安)副会頭より、本年 7 月 8 日（日）に開催予定の第 2 回フレッシュャーズ・カンファレンスの広報用チラシを基に開催概要が報告された。

(4) 委員会開催報告

青山理事より、第 1 回企画シンポジウム委員会（本年 3 月 16 日開催）の議事概要として、本理事会の協議 3、同 4 に関する報告があった。

(5) 後援依頼（1 件）

議長より、次の後援依頼を了承したことが報告された。

- ・「第 19 回臨床腫瘍夏期セミナー」（NPO 法人東京がん化学療法研究会）

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は 15 時 15 分に閉会を宣言し、解散した。